



雨の多い時期になりました。外に出られないのは仕方ない!!逆転の発想で室内遊びをどう充実させるかを考えよう!!ということで、今月は子どもにとっての大切な「あそび」についてお伝えしていきます(^^♪

## ～ あそびを通して経験し、学ぶ ～

子ども達が生活する中で大きな割合を占めるのが「あそび」です。

「あそび」といっても玩具を介して、あそぶことが全てではありません。自分の手や足を触ったり、口に入れたりすることも「あそび」になり、また大人と一緒にわらべ歌などで楽しむことも一つの「あそび」と言えます。

4月の頃を振り返ってみると、多くの子がまだハイハイやずり這いで移動がスムーズにはいかず、自分の周りの限られた空間であそんでいました。その中で玩具をいじったり、触ったり、なめたりして自分なりに自分自身で“あそぶ”姿がありました。そこから少しずつ移動がスムーズになり、世界が一気に広がります。自分が興味のある物に近づいてあそぶことで、様々な体験、経験をします。触れる過程で物の素材や形、使い方を学んでいきます。

また大人との関わりを見ても、今ではクラスの大人に慣れて顔が見れば笑顔が広がる子たちですが、最初の頃は慣れない環境に慣れない大人に号泣の日々…。それが日々の「あそび」の積み重ねで、「次はどんなあそびをしてくれるのかな？」と興味を広げてくれる存在となり、信頼関係を築くことにも繋がっていると実感しています。(もちろん「あそび」だけでなく、日々の生活面全般を通して繋がっていることでもあります)

園では子ども達の興味が広がるようにいろいろな種類の玩具を準備しています。大きな話になりますが、様々な物に触れてあそぶことは、身体の機能面の発達面に繋がっていき、大人との関係構築の手段にもなります。子ども達一人ひとりのよりよい成長の為に、これからも多くの「あそび」を経験させていきたいと考えています(\*^-^\*)ご家庭でも「どんな玩具が好きなのかな?」「何をしてあそぶときが一番楽しいのかな?」など聞きたい事がありましたら、担任までお気軽にお伝えください!!